大会開催にあたっての安全対策ガイドライン

1. 参加者は、競技場においてこまめな手洗いや咳エチケット（マスクの着用の推奨）、更衣室前、トイレ前などにある消毒用品で消毒をおこなうなどの基本的な感染対策を徹底する。
2. 選手は、レース直前までマスクを着用する。また使用したマスクは選手椅子や更衣室の椅子などに直接置かないようにする。
3. 密閉空間を避けるため、選手の控え場所は屋外とする。その際に衣服等による温度調整を含めて、選手自身においても温度・湿度管理、熱中症予防に努める。
4. 入館から退館まで密集場所を避けるため、人との距離をできるだけ２ｍ以上あけて行動する。人が集まる観覧席、控え所等でも同様に距離をあける。
5. 更衣室等の利用は更衣のみとし短時間の利用、更衣室・会場への出入りに時間差を設けるなどの対策を講じる。また、上履きの使用や下靴上靴の履き替えを必ず守る。
6. 密接場面を避けるため、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触を避ける。また、近距離での大きな声などでの会話や応援をしない。応援は拍手のみで行う。
7. 参加者は大会２週間前からチェックシートを記録し、そのシートは学校が保管する。
8. 引率者は、レース当日・レース前に選手の健康状況を確認し、体調不良のいた場合は参加させず保護者へ迅速な対応をする。
9. 競技中の水分補給に関しては必ず個人のものを使用する。
10. 飲食は、指定場所でのみ行う。また、黙食を励行し、対面での食事を慎む。
11. 各学校それぞれの共有物の適切な管理又は消毒を徹底する。
12. 会場内への出入りは許可を得たレースに出場する選手、顧問、引率教員、各学校が認めた指導者、役員、審判のみとし、競技終了後生徒は速やか退出させる。
13. 大会会場までの交通機関内では必ずマスクの着用、人との距離、座席間の距離等に留意する。
14. 参加者が使用したもの（マスク・ティッシュ等）や飲み切れなかった飲物や飲食後のゴミは、必ず使用した本人が持ち帰るようにする。
15. 大会後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発病した場合は、競技会担当者に対して、濃厚接触者の有無について報告する。